

松本ピアノ ミニコンサート

『明治を生きた松本ピアノと啄木』

アンディアーモとその仲間たちによる朗読劇

☆ピアノ 南澤鈴華

曲目 りんご追分／竹田の子守唄／島唄 等 日本古来の曲

☆朗 読 石川啄木：一握の砂 悲しき玩具 等より

「朗読会 アンディアーモとその仲間たち」

大森蓮子・四宮富江・高橋恵美子・八田厚子・早川令子・小野正臣・千葉育雄・延平和樹

朗読会アンディアーモ プロフィール

20年以上の朗読奉仕活動を経て、美しい作品の朗読に挑戦すべく昨年5月、5人の仲間たちで立ち上げた生まれたばかりの朗読グループです。

「東日本大震災」にともない和合亮一著作集で4回の朗読会を開催。

2012年2月には、「第40回君津市社会福祉大会 特別企画 星野富弘展」で、40名以上の一般朗読者を束ね、4つの作品を4日間にわたって公演。これから更なる活動を模索中です。



演奏：南澤 鈴華

プロフィール

東京音楽大学附属高等学校を経て、東京音楽大学ピアノ科卒業。東京音楽大学大学院科目等履修生修了。第5回やちよ音楽コンクールピアノ部門入選。第20回国際芸術連盟新人オーディション合格。第7回日本演奏家コンクールピアノ部門一般の部第2位入賞。2003年ウィーン夏期音楽セミナーにて、アヴォ・クユムジャンのマスタークラスを受講する。これまでに、斎藤由美子、宮崎和子、弘中孝、アヴォ・クユムジャン、の各氏に師事。現在、ピアノ講師として後進の指導にあたる他、ソロやフルート、ギターとのジョイントコンサートなど精力的な活動をしている。

君津市発祥のスイート・トーン「松本ピアノ」

「松本ピアノ」は明治時代に君津市常代出身の松本新吉が創立したピアノ製造メーカーです。ピアノの響きを決める響板には国産（北海道産）のエゾマツを採用し、やや低めで優しい、室内向きの音色が特徴の（SWEET TONE）ピアノを作りました。戦前の国内三大ピアノ・メーカー「松本」「西川オルガン」「山葉（ヤマハ）」の一つとして数えられ、当時は『見映えのヤマハ、音色の松本』と評され人気を博していました。松本新吉、息子の新治、孫の新一とピアノ製造の技は継承され、1991年に製造工場が操業停止されるまで作り続けられました。

10/20 (土)

入場無料

君津市民文化ホール リハーサル室

開場13:30 開演14:00

※未就学児の入場はご遠慮下さい。

問合せ：君津市民文化ホール TEL.0439-55-3300

主催：公益財団法人 君津市文化振興財団 / 松本ピアノ・オルガン保存会